

提案概要

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針	商工業振興センターの設置条例を遵守し、多様化する利用者のニーズに対し効果的、効率的な運営を図り、平等な利用の確保に努める。
	市民の平等な利用の確保	利用者が使用申込手続きをスムーズに行えるよう努め、正確かつ迅速に対応する。
	施設の効用の最大限の発揮	商工業の振興を目的とした施設は市内で限られている中、商工業者が多数収容できる研修施設として利用されている。物価高や事業所数減少など地域経済を取り巻く状況は厳しい中、中小企業者のための各種セミナー・講習会等に積極的に活用するとともに、潜在的な需要層の開拓。諸手続きの迅速化、利便性向上に取り組む。
団体の経営状態の健全性		毎年度、事業報告書（付収支決算書）により経営の健全性を公表している。
事業計画	施設管理運営の実施方針 (合目的性)	利用者に安全かつ快適なサービスが提供できるように、施設等の正常な機能を保持し、適正な維持管理に取り組む。
	事業への具体的な取り組み方、施設の運営体制や組織 (機能性、独創性)	専従者及び兼務者を配置し、業務に要する能力維持の研修を行うなど指導・研修体制を設ける。また、利用者の申込手続きをスムーズに行い、また利用者の意見や要望を把握し管理運営へ反映させる。
	施設の運営体制や組織 (責任制、実効性)	多様化・高度化するニーズへの効率的・効果的な対応が可能。商談や研修・社員教育の場等としての利用促進を図るとともに、サービスの質向上ひいては地域経済の活性化に寄与することが可能
	適正な管理や経理 (明瞭性、規律性)	法定点検の遵守、利用者の安全・衛生面への配慮により適正な維持管理、利用者へのアンケート調査により適正な管理水準を確保する。また、年間の主な保守・点検業務の計画表を作成することで、業務の遅れや未実施が生じないよう管理・確認を行う。
安全管理、緊急時等の対応 (安全性)		防災計画を設けて火元責任者を置き、消防用設備等の定期点検を行う。また、自衛消防組織を置き、職員等を対象にした防災教育・訓練を実施し緊急時体制を構築する。さらに、警備員を適切に配置し防犯にも努める他、建物入居者及び警備会社への緊急時連絡表を作成し緊急時に備える。

環境、障害者等への配慮 (社会性)	電気使用状況を常に確認し電気使用の削減に努める。また、平等な利用の確保に努め、安全かつ快適なサービスを提供する。
過去の実績等	平成 18 年（2006 年）度から管理
経済性	令和 8 年（2026 年）度～令和 12 年（2030 年）度 95,020 千円（19,004 千円／年）